第１６回うるま市空手道古武道選手権大会要項

（県民体育大会１次選手選考会）

趣旨：空手、古武道を修練している市民が日頃練磨している技を競い、相互の交流、親睦

を図り空手道、古武道の普及に務める。

主催：うるま市体育協会

共催：うるま市教育委員会　　うるま市空手道古武道連盟

後援：うるま市

日時：２０２１年９月５日（日）　午後１時４５分開会、２時競技開始

会場：前原高校武道場

出場資格：18歳以上（高校生不可）のうるま市民、（現住所又は本籍がうるま市にある者）

及びうるま市内の道場所属者。

参加料：1,000円（全種目への重複出場可能）

申込み方法：所定の用紙に必要事項を記入の上、参加料を添えて各道場、又は個人で申し込

みしてください。

締切り：２０２１年８月２６日（木）午後5時（期日厳守）

申し込み先及びお問い合わせ：うるま市体育協会　　☎ 098-974-2540

**※今大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止または延期になることがあります。**

競技規定：(公財)全日本空手道連盟競技規定、県民体育大会空手道古武道競技規定及び当大 会の申し合わせ事項に沿って行う。

競技種目

空手道：１．一般男子形 　　 ２．一般女子形　　　３．壮年男子形

４．壮年女子形　　　 ５．一般男子組手　　６．一般女子組手

７．壮年男子組手　　　　８．壮年女子組手

古武道：１．一般男子棒 ２．一般女子棒　　　　　３．壮年男子棒

　　　　４．壮年女子棒　　　　　５．一般男子サイ　　　　６．一般女子サイ

７．壮年男子サイ　　　　８．壮年女子サイ

＊各競技の重複出場を認める

＊空手形・古武道の部は採点方式とする。

注意事項

抽選：全競技とも抽選は本部抽選とし、古武道は即決勝とする。

選手：各種目の選手交代は認めない。

道着：空手道競技の道着の色は白のみとし、古武道着は各会派の道着を認める。（カラー可）

　　　上着の袖の長さは、手首までとし、前腕の中程より短くてはならない。

　　　上着の袖をまくってはならない。裾の長さは、少なくとも下肢の3分の2を覆うほ

どの長さとし、踝が隠れてはならない。裾をまくり上げてはならない。

女子選手の場合、道着の下に白無地のTシャツを着用してもよい。

組手競技では、ヘアクリップ、金属のヘアピンは禁止される。

形競技では、目立たないヘアクリップ、ゴムは認められるが、リボン及びその他の

装飾は禁止される。

眼鏡は禁止される。ソフトコンタクトレンズは、競技者自身の責任において使用し

てもよい。

空手道

形　：形競技は、別表に記載されている形の中から毎回違う形を演武する。

　　　トーナメント制フラッグ方式で行う。

組手：２０１９年度(公財)全日本空手道連盟競技規定により行う。

一般部は２分間の８ポイント先取、または試合終了時に得点の多い方を勝者とし、

先取が成立している場合は判定を行わない。

壮年部は１分３０秒の６ポイント先取、または試合終了時に得点の多い方を勝者とし、先取が成立している場合は判定を行わない。

　　　安全具（ニューメンホー、拳サポーター、ファウルカップ（男子のみ））の着用を義務付ける。安全具はすべてWKF、全空連、学連、高体連指定の物を使用する。ボディープロテクターの着用は任意とし、道着の中からの着用とする。シンガード・インステップガードの着用を認める。その場合、両方を着用すること。安全具を使用しない者の組手競技への出場は認めない。

脚部サポーター、又はテーピングは競技前に審判長の許可を得なければならない。

古武道

　　　採点方式とし、古武道型は別表に記載されている型の中から演武する。

　　　サイを実際に投げることは禁止され、投げた場合は反則とする。

武具規定

男子

　棒：長さ６尺（180cm）以上、重さ900g以上の樫丸棒を使用する。

サイ：長さは肘の長さ程度とし、重さ650ｇ以上のサイを使用する。

女子

　棒：長さ６尺（180cm）以上、重さ800g以上の樫丸棒を使用する。

サイ：長さは肘の長さ程度とし、重さ550ｇ以上のサイを使用する。

＊武具に関しては当日、本部にて計量を行い、検査済みシールを貼る。検査済みシール以外のものを武具に貼りつけてはならない。武具に不審な点がある場合、コート監査が再度武具の検査を行う場合がある。

県民体育大会出場資格：県民体育大会代表選手は、沖縄県空手道連盟会員の中から選考さ　　れる。

最重要注意事項：競技中の怪我、不慮の事故等の際、応急措置は主催者側で行うが、主催

者側はそれ以上の責任は一切負わないものとする。大会での事故、障害

については保険の適用範囲内でのみ対応される。